

教科		美術		科目	素描	単位数	4 単位
学年	2 年	科	美術造形デザイン科		専攻・コース		
教科書					副教材	適宜テキストプリントを配布	
学習到達目標		<ul style="list-style-type: none"> ○造形表現の基礎となる描写力を習得する。形体・パース・質感・構図・構成・空間などの造形要素を理解し、それらを正確に描写表現するための捉え方や技術を学ぶ。 ○作品の密度を高め、完成へと導く為に必要な作業のプロセスや思考力を鍛える。 ○描画道具の特性を十分に理解し、表現に応じた使い方ができること、更には新しい素材や道具に触れることによる好奇心とチャレンジ精神を鍛えることを目的とする。 					
評価の観点		<ul style="list-style-type: none"> ○対象となるモチーフやイメージから多くの印象や感動を得るために、色彩や形体をはじめとして、モノや状況の関係性に興味をもって接することが出来る。 ○個人の主体性に根ざした感覚を養い、自己のビジョンを作品へと転化できる計画性、創造性、柔軟性を身につけることが出来る。 ○発表・講評会を通して自身の作品と制作過程を省みると同時に、他者の作品から見てとれる特徴や表現技術などの違いを比較・検討し、自己批評することが出来る。 					
期	月	学習内容・項目		学習のポイントと到達目標		備考	
前	4	○素描Ⅰ 「アルミ製脚立をメインとした静物」		<ul style="list-style-type: none"> ○複雑な構造をもつ人工物の形体の基本的な骨格と成り立ちを観察描写することでモチーフから与えられる情報を分析、解析する力を養う。 ○モチーフのプロポーション、パースを素早く正確にとらえることに重きをおく。 			
	5	○素描Ⅰ 「アルミ製脚立をメインとした静物」		<ul style="list-style-type: none"> ○モチーフの質感を的確に表現するための鉛筆の筆触のレベルアップを図る。 ○人工物特有の多様な直線をフリーハンドで引ける技術をマスターする。 ○モチーフが画面に心地よく収まる構図と三次元的空間感を描き出す力を身につける。 			
	6	○着彩Ⅰ 「木鉢をメインとした静物」		<ul style="list-style-type: none"> ○一年次に学んだ着彩の技術、表現力の向上を目指す。 ○多様な素材感、複数で複雑なモチーフ群を冷静な観察眼と客観描写で描き分ける力をつける。 ○モチーフの相互関係、状況を読み解く洞察力、集中力を養う。 			
期	7	○着彩Ⅰ 「木鉢をメインとした静物」		<ul style="list-style-type: none"> ○モチーフ個々の描き込みの密度を深める。 ○複数あるモチーフを画面にバランス良く収める為、モチーフ個々の重ね方、切り方など、構図やトリミング方法を学ぶ。 			
	8	○デッサン力強化講座 (7.8 月月末実施)		<ul style="list-style-type: none"> ○基本的な描写力のレベルアップ。 ○人物コスチューム（友達）の着彩をとおして人体の構造とムーブマンを理解する。石膏デッサン（胸像）によって、より理解を深める。 			

	9	○着彩Ⅰ 「木鉢をメインとした 静物」	○発表・講評会を行う。 発表・講評会により自身の作品を相 対的に鑑賞し、客観的判断のもと長 所と改善点を発見する。他者の作品 から表現力、技術力、熱意、創意工 夫など補足出来る箇所を見つける。	
期	月	学習内容・項目	学習のポイントと到達目標	備 考
後	10	○イメージデッサンⅠ 「私にとってのパラダイ ス」	○共同制作も兼ねており他者、他作品 との関わりを考える。互いに差異の ある世界観、価値観を共有させるた めに必要な関係性を探り、その過程 で生じる意外性や相乗効果を体感す る。試行錯誤することの面白さやダ イナミズムに興味関心をもち、制作 における好奇心、探究心を養う。	
	11	○イメージデッサンⅠ 「私にとってのパラダイ ス」	○自身のイメージやビジョンを具現化 するための創意工夫や作品のクオリ ティーを高める努力、計画性を育む 。 ○発表・講評会を行う。 発表・講評会により自身の作品を相 対的に鑑賞し、客観的判断のもと長 所と改善点を発見する。他者の作品 から表現力、技術力、熱意、創意工 夫など補足出来る箇所を見つける。	
	12	○素描Ⅱ構成デッサン 「スニーカーとクルミ」	○構成力、描写力、物語性、密度など 学習してきた素描における総合力を 確認する作業でもあり、三年次課題 に向けての展開力を促す課題として 位置づける。 ○作品のクオリティーを保ちつつ、効 率的作業と仕事の素早さを身につけ る。	
期	1	○素描Ⅱ構成デッサン 「スニーカーとクルミ」	○スニーカーとクルミの描写力を鍛え る。 ○アイデアスケッチを複数回重ねるこ とでレイアウト、トリミング、意匠 性など構成デッサンに必須なポイン トを学び、主題に即した見せ方につ いての工夫を凝らす。	
	2	○素描Ⅱ構成デッサン 「スニーカーとクルミ」	○発表・講評会を行う。 発表・講評会により自身の作品を相 対的に鑑賞し、客観的判断のもと長 所と改善点を発見する。他者の作品 から表現力、技術力、熱意、創意工 夫など補足出来る箇所を見つける。	
	3	○素描Ⅱ構成デッサン 「スニーカーとクルミ」 ○まとめ	○三年次課題「花の静物」に向けて生 花を観察描写し、花がもつ多様な即 物的側面（構造、法則、色彩など） と感覚的側面（臭い、気配、臨場感 など）の両側面を観点に表現する。 ○繊細且つ大胆なモノのとらえ方、描 写力を鍛錬する。	